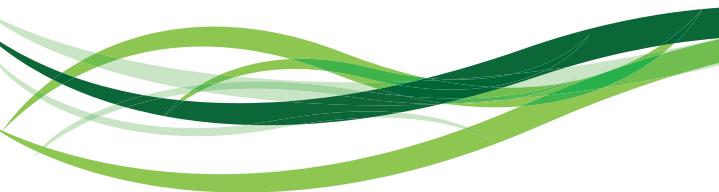


第73期

第2四半期報告書

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)



株主の皆様へ



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第73期第2四半期累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）が終了いたしましたので、その現況をご報告申し上げます。

■事業の経過及びその成果

当第2四半期累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が進みましたが、先進国を中心にワクチンが普及し、経済活動の再開が進んだ結果、景気持ち直しの動きが継続しました。

このような環境のもとで、当社は、「成長への転換」をテーマとした新中期経営計画（2022年3月期から2024年3月期まで）を掲げ、その初年度がスタートしました。

当社の売上高につきましては、タンタルコンデンサ及び回路保護素子ともに、前年同期に比べて大幅に増加しました。その要因は、タンタルコンデンサにつきましては、補聴器、その他民生品等の海外市場向け及びカーエレクトロニクス向けの需要の増加によるものであり、回路保護素子につきましては、リチウムイオン電池向けの高電流ヒューズの需要の増加によるものです。

その結果、当第2四半期累計期間の当社の業績は、売上高につきましては、2,373百万円（前年同四半期比41.2%増加）となり、損益につきましては、売上高の増加及び原価低減が奏功し、営業利益287百万円（前年同四半期比620.8%

増加）、経常利益274百万円（前年同四半期比988.5%増加）となりました。

また、特別損失として、台湾当局への課徴金62百万円及び集団訴訟等の対応のための弁護士報酬等35百万円の独占禁止法等関連損失98百万円を計上した結果、四半期純利益141百万円（前年同四半期比191百万円改善）となりました。

なお、当社は、2021年7月に東京証券取引所より、当社が新市場区分において「スタンダード市場」の上場維持基準に適合している旨を受領しました。この結果に基づき、当社は取締役会決議を経て東京証券取引所に「スタンダード市場」を選択する手続きを行います。

■セグメント別の概況

セグメント名	売上高 (百万円)	売上高構成比 (%)
タンタルコンデンサ事業	1,733	73.0
回路保護素子事業	552	23.3
その他	88	3.7
総 合 計	2,373	100.0

(注)「その他」はフィルムコンデンサ事業です。

■対処すべき課題

当社は、新中期経営計画において、継続的な新製品開発・生産・販売による再成長を目標とし、2022年3月期においては、回路保護素子JHC型の増産体制の整備に伴う売上高の増加等により営業利益450百万円を見込んでいます。

当社の経営計画における回路保護素子事業の内容等につきましては、トピックスをご覧くださいようお願い申し上げます。

また、当社は、コンデンサ製品の独占禁止法等に関する件につきましても、引き続きこれに適切に対応してまいる所存です。

株主の皆様におかれましても、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 常俊 清治

トピックス

●回路保護素子事業について

当社は、1994年に当時の他社品よりもさらに小型チップタイプの回路保護素子の販売を開始し、第73期第2四半期累計期間では、当社の売上高に占める比率は23.3%となりました。

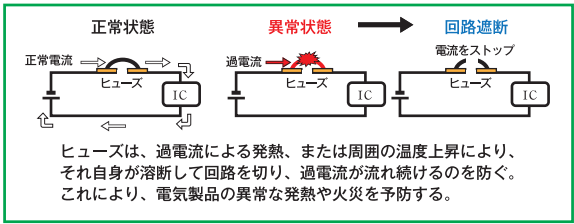
回路保護素子の役割・用途及び回路保護素子事業の今後の取り組みについて、ご報告申し上げます。

(1) 回路保護素子の役割・用途

1. 回路保護素子の役割

回路保護素子は、電気・電子機器の故障等により、回路に異常な電流が流れた場合、ヒューズが溶断し、電流を遮断することで、機器の発熱や発火を防止し、回路を保護する部品です。

回路保護素子（ヒューズ）の仕組み



2. 回路保護素子の主な用途

電子機器やリチウムイオン電池パックの電源回路の保護が、主な用途となります。

(用途例)

- ・ ノートPC
- ・ 電動掃除機
- ・ ドローン
- ・ サーバー機器
- ・ 電動工具
- ・ 電動アシスト自転車
- ・ 搬送ロボット・AGV (無人搬送車)
- ・ 電動車椅子
- ・ xEVシステム (HEV、PHEV、EV、FCV)

(2) 回路保護素子事業の今後の取り組み

1. 回路保護素子販売拡大に向けて増産体制の構築
リチウムイオン電池用途で、JHC型の需要の増加に対応するため増産体制を構築します。
2. 中電流領域用新製品の量産体制の整備
当社の回路保護素子の電流領域別のラインアップの状況は下表のとおりです。

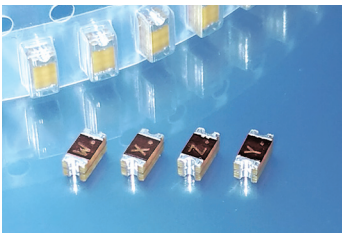
* 各電流領域のA(アンペア)は、電流値を表します。

低電流領域 (0.2A~10A)*	中電流領域 (10A~20A)*	高電流領域 (30A~100A)*
KAB 型		
JAG 型		
	新製品 JAJ 型 JAK 型	
		JHC 型

KAB型、JAG型、JHC型は、当社既存の回路保護素子製品です。

当社製品ラインアップを強化するために、10Aから20Aまでの中電流領域用新製品JAJ型及びJAK型を開発し、2021年10月に量産体制を整備しました。

- ・ JAJ型 (定格電流200%溶断仕様)
定格電流 12.5A、16A
- ・ JAK型 (定格電流の250%溶断仕様)
定格電流 10A、12.5A、16A、20A



四半期貸借対照表（要約）

第2四半期会計期間末 (2021年9月30日現在)			
(単位:千円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	5,674,813	負債の部	3,835,060
流動資産	3,891,992	流動負債	2,455,079
固定資産	1,782,821	固定負債	1,379,980
有形固定資産	1,477,065	純資産の部	1,839,753
無形固定資産	263,825	株主資本	1,839,753
投資その他の資産	41,930	資本金	2,219,588
		資本剰余金	302,662
		利益剰余金	△680,428
		自己株式	△2,069
資産合計	5,674,813	負債純資産合計	5,674,813

四半期損益計算書（要約）

第2四半期累計期間 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)	
(単位:千円)	
科 目	金 額
売上高	2,373,671
売上原価	1,663,461
売上総利益	710,210
販売費及び一般管理費	422,919
営業利益	287,290
営業外収益	1,505
営業外費用	14,313
経常利益	274,483
特別損失	101,362
税引前四半期純利益	173,121
法人税、住民税及び事業税	31,969
法人税等調整額	—
四半期純利益	141,152

当社の概要（2021年9月30日現在）

- 設立
1949年12月12日
- 資本金
22億1,958万円
- 事業所
本 社 大阪府豊中市
営業所
東日本営業部・拡販営業部 東京都千代田区
中部日本営業部 愛知県安城市
西日本営業部・拡販営業部 大阪府豊中市
工 場
福知山工場 京都府福知山市
本社工場 大阪府豊中市
島根工場 島根県出雲市
- 従業員数 242名

■取締役及び監査役

氏 名	地 位	担当及び重要な兼職の状況
常 俊 清 治	代表取締役社長	執行役員
網 谷 嘉 寛	常 務 取 締 役	執行役員総務経理部門長
岸 下 学	取 締 役	執行役員生産部門長
宮 田 智 彦	取 締 役	執行役員営業部門長
石 井 啓 之	取 締 役	(重要な兼職の状況) 公認会計士
林 信 綱	監 査 役 (常 勤)	
岡 本 健	監 査 役	
平 泉 憲 一	監 査 役	(重要な兼職の状況) 弁護士

< ご参考 > 当社は、執行役員制度を導入しており、取締役を兼務しない執行役員は以下のとおりです。

氏 名	担当及び重要な兼職の状況
山 地 正 人	執行役員経営・調達管理部門長兼内部監査室長
平 塚 伸 彦	執行役員品質保証部門長
岡 田 一 人	執行役員開発部門長

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日

上記のほか必要ある場合には、あらかじめ公告して定める日
公告方法

電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

電話 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

松尾電機株式会社

本 社 〒561-8558

大阪府豊中市千成町3丁目5番3号

電話 06-6332-0871(代表)

ホームページアドレス <https://www.ncc-matsuo.co.jp>



ニーズにこたえる信頼の技術

MATSUO ELECTRIC CO., LTD.